

お同行各位

十二月お寺の日のご案内

師走に入り、今年も残りわずかとなつてまいりました。コロナウイルスの第三波がもうすでにきていると報道されている中、皆様も不安な気持ちで毎日を過ごされていると思いますが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

「どちらわねない心・かたよらない心・こだわらない心

ひろく ひろく もつとひろく これが般若心経 空のこころなり

高田好胤(こういん) 師

十二月八日はお釈迦様がお悟りを開かれた日である、成道会にあたります。お釈迦様がお悟りを開かれて、お弟子達にお説教をされた際、「人間と言うものはすぐに何かにとらわれたり、迷つたり、他人の事をうらやんだり、自分が正しいと決めつけ、こだわってしまう」とお話をされました。

では、このような心をなくしてしまえば幸せになれるのでしょうか。多くの方が新しい年を迎えるようにと一年間の煩惱をリセットしに除夜の鐘をつきに行かれると思います。しかし、次年にになると、また同じように一〇八もある煩惱をリセットしに鐘をつきに行きます。つまり、お釈迦様はそのような心をなくすことはそもそもできないと説かれており、また、これら的心があるおかげで人間は人生における満足や幸せを感じることができます。

どのようにすれば幸せな人生を送ることができるのか。お釈迦様は、四苦八苦とあるように人間が生きていく上で、ひとつ的事にとらわれたり・偏つたり・こだわることで色々と苦しんでしまうことは当たり前のことであり、その苦しんでいる自分から逃げだすのではなく、般若心経に「観自在・・・」とあるように『今の自分のありのままの存在(状態)を見て、しっかりと受け入れて行動しなさい』

そうすることで、「今生きていることがありがたいと感じられたら、今の人生の苦しみは減らすことができる」と説かれました。つまり、苦しみを0にはできないが『ひろい心』を持つことで自分の考え方以外にも多くの違った考え方が存在し、正解も一つではないということに気付く。そのことで、自分自身の苦しみを少しでも減らすことができるのです。毎日の生活の中で姿勢正しく、イライラした時には、ゆっくりと深呼吸を常に心がけ、欲ばらず、笑顔を絶やさず、日の光をあび、自然にふれ、気持ちをおだやかにして日々過ごすことできせに生きる第一歩が踏み出す事ができると思います。

コロナウイルスで世界中が苦しんでいる状況は依然として変わりませんが、一人一人がありのままの自分を受け入れて「一日一歩、三日で三歩」の三六五歩のマーチのように少しずつ一步ずつ前向きに幸せへの道を進んでいこうと感じていただくことが成道会の大切な教えに繋がると感じております。

十二月二十一日(土) 午後一時三十分から 写経(般若心経)

成道会のお勧め

- ◎ 十二月三十一日(火)は午後十一時四十五分より本堂にて除夜のおつとめ、撞き始めは十二時三十分閉門です。

- ◎ 元日より三日間、本堂にて朝七時と夕方四時に新年のおつとめを致します。

※尚、来年はコロナウイルス対策の為、新年のご挨拶は玄関先でのご挨拶のみとさせて頂きますので、よろしくお願ひ致します。